

サムライの兜・鎧をモチーフに審美性の高い外国人向け日本のお土産開発

■本事業への経緯

自社ブランドを立ち上げ、外国人向けお土産を開発

1985年創業、印刷加工業を営んでいた。顧客である広告代理店やデザイナー等から依頼を受け、POP等の販促物を製作する業務を主軸としており、シルクスクリーンによるデザイン性と審美性の高い製作に特化していた。しかし、印刷業界の縮小とともに請負業務の業務量が次第に減少していった。

そこで2013年、自社ブランド「SAMURAI AGE」を立ち上げた。従来からの強みである製作ノウハウと技術を活かし、自社でオリジナル商品の企画・開発を行うというものである。「日本のものづくりの原点である手仕事による製品の審美性、デザイン性の高さを、とくに、外国人の方に素晴らしさを伝える」ことをコンセプトに掲げた。具体的な商品開発にあたって、まず、大学からの友人に相談しオリジナル商品の題材について協議を重ねた。当時、国がインバウンドに力を入れ始めた頃で、外国人観光客が増えつつあった。そこに着目し、題材には戦国時代の武将の兜・鎧を選んだ。

また、友人から兜・鎧の質感や重厚感を保持しつつも、若干アレンジ・デフォルメして、近代的な遊びの要素も加えた仕上がりとするためのデザインアイデアの助言を受けた。一方、「SAMURAI AGE」は、その造形とディテールの再現につとめ、しかも、お土産として持ち帰りやすいように軽くて、折りたたむこともできる兜キャップを手作業のみで製品化にこぎつけた。

兜キャップは、本物の兜とは素材も一つひとつのパーツの形状も、その組み立て方も全く異なる。頭に被る部分、実は、ごく普通の野球帽（キャップ）である。それでいて、全体として本物の質感、重厚感を保っているのは、素材選びから重厚感と微妙な風合いをだすスクリーン印刷技術、デフォルメを感じさせず、かつ組み立てると微妙な曲面を生み出す型紙製作と正確な型抜き技術など、販促物製作で培ったノウハウや手仕事の技術が活かされているからである。しかも、完全に手作業だけの社内製作であり、外注はない。

兜キャップの定価は、10,000円程度に設定した。織田信長や武田信玄、伊達政宗、真田幸村、黒田官兵衛・長政といった人気の戦国武将を揃えた。また、2014年には武将の兜と鎧をデザインした日本酒・焼酎の5合瓶やワインボトルなどの「ボトルカバーサムライ鎧」も商品化した。

こうして開発した商品は、「第10回魅力ある日本のおみやげコンテスト」（観光庁）で兜キャップが入選、「おみやげグランプリ2015」ではボトルカバーサムライ鎧がアイデア賞に入賞するなど高い評価を得た。メディアに取り上げられ認知度も高まった。外国人観光客が集まる成田国際空港・関西国際空港、有名百貨店、大阪城・姫路城の売店など、北海道から沖縄まで取扱い店が拡大、着実に売上を伸ばしている。

■事業の内容

小型化を図り、競争力を高める

「SAMURAI AGE」ブランドは、来日外国人向けのお土産として販売することと、海外在住の外国人に向けて直接web等で販売することを主眼としていた。しかし、購入客の8割は日本人が占めている。海外の流通事情などに精通していなかったことが原因の一つだが、日本人が購入するほど精巧で品質が高かったとも言えるだろう。とはいえ、日本のお土産品として競争力を高めるために、兜キャップ、サムライ鎧のサイズをもっと小型化する必要はあった。

お土産品となると、手頃な価格で提供するためにも大量生産ができる体制をつくる必要がある。しかし、同社はこれまで、手作業と内製化にこだわってきた。それが、大量生産化の壁となっていたわけだ。



兜キャップ。人気の戦国武将シリーズ。軽くて折り畳みむこともできる。



ものづくり技術

有限会社 スタッフ（福岡市）

対策として、カッティングプロッターを導入した。

■事業の成果

作業工程を大幅に短縮

今までは全て手作業で行ってきた試作品製作の作業を、パソコンでデータを作成しプロッターを使用することで、短時間で人手をかけずに試作品製作を出来るようになった。そのため、細かなデザイン変更希望やサイズ変更希望などにも迅速に応えることができるようになり、今までよりも企画段階での打合せがとてもスピーディになった。

また、大量生産を必要とする際に使用するトムソン型を決定する前にプロッターを使用してデータに不備がないかを確認できるようにもなった。プロッター導入時には、作業工程を現在の半分に短縮でき、同時に作業できる点数が増えることを想定していたが、実際にはそれを大幅に超える成果を得ることができた。

■今後の課題・展望

ペット（犬・猫）用鎧が海外で大きな反響を呼ぶ

試作品の製作が手軽にできるようになったことから、ペット（犬・猫）用の鎧をつくったところ、ネットで大きな反響を呼び、アメリカやニュージーランド、タイ、カナダなどから問い合わせや注文がひっきりなしに入るようになった。今は、製作が追い付かず、待ってもらっている状況だという。今後はアイテムを増やし、商品の充実を図る。

今回のペット（犬・猫）用鎧は同社の製品を世界にアピールする絶好の機会となるだろう。日本らしさを形にする「SAMURAI AGE」ブランドの広がりが期待できる。



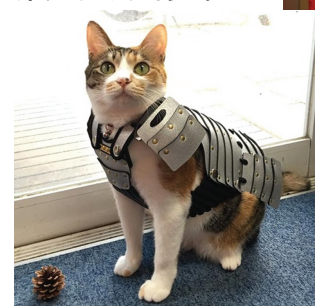
カッティングプロッター



精巧につくられた鎧兜。



▲ペット（犬・猫）用の鎧も大変な人気を呼んでいる。国内だけでなく、アメリカなど海外からの注文も多い。▼



▲実際に着用することもできる。幼児用から大人用までのサイズを揃えている。オリジナルの製作も受ける。写真は鎧を着た木村英司社長。

企業概要

会社名 有限会社 スタッフ
住所 福岡市南区大楠2-4-23
代表者 木村 英司
連絡先 092-531-2800
資本金 300万円

設立 昭和60年10月
事業内容 印刷加工・ビニール加工業、自社ブランド品製作販売
従業員数 5人
ホームページ <https://www.samurai-age.jp>